

私と臨床美術との出会い

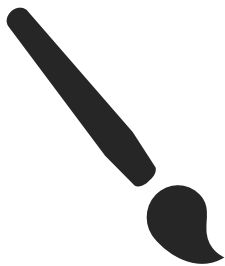
佐藤雅彦

私と臨床美術の出会いは、今から 13 年前になります（2011 年 57 歳）。認知症の人と家族の会の世話人に誘われて、埼玉県立大学で行なわれていたイベントに初参加した時でした。講師から、手本通りでなくて良いので思った通りに描きなさいと言われて、自由に描けたので好きになりました。

現在通っている教室は、東川口にあるスタジオ*千ひろばで、2016 年 10 月から通っています。月 2 回、第 2・第 4 金曜日の午前 10 時半開始で、12 時までに 1 つの作品を完成させます。その後 12 時半まで参加者で鑑賞会を行ないます。

私の作品は色が鮮やかで明るく、迷いがなく、思い通りに描いています。アートは表現なので、上手、下手はありません。失敗ありません。描いている時は、何もかも忘れて無心になれるところがいいです。作品の出来栄は二の次で、楽しく創作活動をしてアート作業を楽しむことが大切です。

今回の作品は、今年の干支の『辰』と『雪どけ』を描いたものです。



『雪どけ』



『辰』

